

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で、次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	コロナ禍の為、外出や居室での面会を控えており、馴染みの人との関係が途切れてしまわないか不安がある。	家族や親類、友人など馴染みの人との関係が途切れないよう、交流の手助けを継続していく。	来訪時には面会室を利用し、個別の空間で交流を楽しんでいただく。電話や年賀状のやり取りのお手伝いを継続し、今後は徐々に感染対策に注意しながら外出も再開できるようにしていく。	6ヶ月
2	33	ホームでは基本看取り支援は行っていない為、実際に直面した際に、どこまでホームでできるのか判断が難しい。	利用者の状態に合わせて、その都度家族や主治医と密に話し合い、本人、家族が納得のいく終末期に向けた支援を行う。	重度化に伴い、必要な医療やホームでできる支援について、その都度本人、家族、主治医と相談しながら支援に取り組んでいく。次の段階の福祉施設や医療機関も視野に入れながら、ホームでできる限りの終末期に向けた支援を行っていく。	6ヶ月
3	53	コロナ禍の為、日常的な外出支援が困難となっている。	感染対策に注意し、外出の機会を増やしていく。	花見や紅葉狩りなどの季節ごとの行事は継続し、それ以外でも安全面に考慮しながら、日々の買い物や天気の良い日にドライブへ出かけるなど、徐々に外出の機会を増やし気分転換をはかっていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。